

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 1 枚目

実施年月日	第 31 期 第 3 回 運営審議会		令和 2 年 9 月 2 日実施	
会 場	中央公民館 403・404 講座室	傍聴人	0 人	
出席者	委員		井上経久、笠原直美、後藤ルリ子、塩田美幸、田代正孝、藤瀬竜子、祝健一郎、山田久美子、渡辺和美	
	事務局	中央公民館	浅間直美、竹田由里子、土沼裕子、伊藤 聡	
		鳥屋野地区公民館	小栗 敦	
		東地区公民館	片桐康正	
	関屋地区公民館	樋山光仁		
議題等	<p>議題・報告</p> <p>(1) 事前送付資料についての質問・意見等について（内容説明省略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の現状について ・令和元年度事業報告について ・事業の基本方針 <p>(2) 令和 2 年度の公民館予算・事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度公民館予算について ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための公民館対応について ・令和 2 年度事業計画および進捗状況について <p>(3) その他</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環で、会議の短時間化に取り組んだため、議題 (1) については、会議当日の資料内容説明は省略し、委員からの質問・意見等の聴取から開始した。</p>			
審議された議題及び報告について以下に記載する。				
浅間中央公民館長あいさつ				
(1) 事前送付資料についての質問・意見等について（内容説明省略）				
中央 浅間館長	<p>新型コロナウイルスは、私たちの生活を大きく変えただけでなく、社会教育現場である公民館にも大きく影響を与えました。本日の会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして会議の短時間化を図るため、議題 (1) については内容説明を省略させていただくなど、会議の進め方に少し工夫をさせていただきます。私どもの計画にぜひ忌憚のないご意見、ご提言をいただければと思います。</p>			
藤瀬議長	<p>時間の短縮のため、資料 1、資料 2、資料 3 につきましては、説明を割愛して委員の皆さまからご質問、ご意見を伺います。資料 1「新潟市の公民館について」、「公民館の体系図」、「公民館の利用状況」についてご質問、ご意見等いかがでし</p>			

田代委員	<p>ようか。</p> <p>まず、私から質問ですが、コロナの影響もあったかと思いますが、令和元年度のサークル利用者数が前年度比で1万9,995人下がっている背景には、どのようなことがあるか分析をお伺いできればと思います。</p> <p>公民館を利用する登録団体数は近年減少傾向が続いており、個人的には今後さらに減るのではないかと考えています。定期利用団体が増えれば公民館の利用状況は安定しますが、不定期利用団体の割合が増えることは利用状況に不安定要素が増えていくことになると思います。公民館として、どのような考えを持っているかお聞きしたいと思います。</p>
中央 土沼管理担当	<p>利用者数の減少については分析中ですが、コロナの影響で前年度の3月と比べると利用者数は大きく減少しました。使用料等の全市の状況を見ると約7パーセント落ちており、やはり3月については、コロナの影響により多くのサークルが活動を控えられたことが響いていたと思います。</p> <p>また、定期団体の減少についてですが、サークル解散理由は様々ある中、やはりメンバーの方たちの高齢化が理由となっている事案をいくつか拝見しております。私どもの主催事業をとおして広く公民館を知っていただく機会を提供してだけでなく、サークル活動に興味を持つ方からのご相談に丁寧に対応していくことで、新たな方々から公民館を利用していただけるよう努めていきたいと思っています。</p>
藤瀬議長	<p>続きまして、資料2「令和元年度事業報告」は4つの館の事業の一覧でございます。また、資料には各館の事業評価シートもありますが、何かお気づきの点、ご質問等おありの方はおられますか。</p> <p>まず、質問させていただきます。資料を拝見すると事業の重点化という区分がありますが、区分ごとに見ると4つの館の事業数にはバランスの違いがあることが分かりました。これは4つの館で役割分担があるのか、あるいは施設の特徴などから違いが出てくるものなのか。何か背景があるのでしょうか。</p>
中央 浅間館長	<p>4館の中で、役割分担をしているわけではありません。中央公民館では家庭教育などには力を入れているところがございますが、高齢者の部分をやっていないというのは我々も課題にしております。</p>
中央 伊藤事業担当	<p>施設の特性などもありますが、それぞれの地域は人口構成が異なることから、地域課題にも相違点があることも、各館の注力すべき分野にバラつきがで</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 3 枚目

藤瀬議長	<p>る要因となっています。4館はそういったことを踏まえ、どの分野に力を入れていくかを考え、事業計画を立てています。</p> <p>ただし、中央公民館で言えば、数の上では高齢者対象事業は少ないですが、年齢を問わずどなたでも参加できる講座を企画するなど、できるだけ市民全体に学習機会の提供を行えるよう努めています。これは全館同じです。</p> <p>次に資料3「令和2年度新潟市公民館事業の基本方針」です。ご意見・ご質問がありましたらお出してください。基本方針で昨年と変わった部分、ポイントなどあればこの後の議題にも関連しますので、簡単に説明願います。</p>
中央 伊藤事業担当	<p>教育ビジョン第4期が今年度から実施をされることになりましたが、一番大きく掲げたのが、地域づくり・学校づくりをとおして「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育むというテーマです。それに基づき、学校教育・生涯学習・教育行政を展開していくことが教育ビジョンの中で示されたことに伴い、「1. はじめに」の文章表記に、現代社会において公民館が果たすべき役割について記載させていただきました。また、基本施策の区分も整理し、項目が変更となりました。</p>
藤瀬議長	<p>教育ビジョンが新しくなったことで、少し文言が整理され、基本施策も変更となったとのこと。資料3について、皆さんご意見ございますか。</p>
山田委員	<p>基本施策から「学・社・民の融合」がなくなっていますが、「学・社・民の融合」はどこかほかの基本施策の中に統合されたとの認識でよいのでしょうか。</p>
鳥屋野地区 小栗館長	<p>教育ビジョンの第4期実施計画の基本施策からは表記はなくなりましたが、当然ながら基本施策の根底には前提として「学・社・民の融合」に取り組むことがありますので、どの施策の中でも「学・社・民の融合」を図りながら事業に取り組んでいくことになります。</p>
<p>(2) 令和2年度の公民館予算・事業について ～ 令和2年度公民館予算について (資料4)</p>	
藤瀬議長	<p>議題(2)「令和2年度の公民館予算・事業について」ですが、ここからは事務局から資料説明をいただいた後に質疑応答を行います。事務局からご説明をお願いいたします。</p>
中央 土沼管理担当	<p>資料4により、「令和2年度公民館の主な予算」について説明</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 4 枚目

藤瀬議長	予算の仕組みとしては、歳入で事業費を賄っていく形なのでしょうか。
中央 土沼管理担当	歳出は、公民館の維持管理費等がほとんどの割合を占めていますが、公民館使用料等の歳入だけでは賄えない部分があるので、一般財源として市の財源も合わせてやり繰りをしています。
藤瀬議長	お金については、厳しい状況だと理解しておりますが、限られた中で工夫をして事業を展開していただいていると思います。
(2) 令和2年度の公民館予算・事業について ～ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための公民館対応について (資料5)	
藤瀬議長	資料5「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための公民館の対応」について事務局からご説明願います。
中央 浅間館長	資料5により、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための公民館の対応」および「新しい生活様式に基づく新潟市社会教育施設等利用ガイドライン」について説明。
藤瀬議長	公民館の対応や利用のガイドラインについて、ご質問・ご意見等ありますか。田代委員お願いします。
田代委員	公民館として、利用者に対し非接触型体温計で検温し、熱のある人には帰宅を促すことはできないのでしょうか。 また、チェックリストの質問項目については、もっと詳しい情報がわかるように項目を追加することが必要ではないでしょうか。
中央 浅間館長	検温については、ガイドライン作成の際に検討しました。その場での検温は受付が密になることも考慮し、やはり自らが出掛ける前に体調管理・体温確認をしていただいき、チェックリストを活用した上でご利用いただこうと考えた経緯がございます。今後も状況の変化により、新たな対応が迫られることもあろうかと思っておりますので、検討を続けていこうと思っています。
藤瀬議長	このガイドラインによって、利用サークル・団体から「活動しにくくなった」「もう少し柔軟にできないか」という具体的な要望やご意見は届いていますか。

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 5 枚目

<p>中央 土沼管理担当</p> <p>藤瀬議長</p>	<p>自分たちの活動の中で、こういったことを心掛けていいのか迷っていらっしやるといったお話をよく聞きます。</p> <p>細かなことまで基準として定めるのはとても難しいため、そのような場合は体育施設のガイドラインや、全国組織の協会がホームページに掲載しているスポーツ各種のガイドライン等を紹介させていただくなど、各団体が様々な活動をされているので、一緒に考えながら利用していただいている状況です。</p> <p>誰もが体験したことのない状況の中で、それぞれが持っている情報や知識をひとつに集めたり、つないだりすることが大事だと分かりました。</p>
<p>資料 6</p>	
<p>藤瀬議長</p> <p>鳥屋野地区 小栗館長</p> <p>東地区 片桐館長</p> <p>関屋地区 樋山館長</p> <p>中央 伊藤事業担当</p> <p>藤瀬議長</p> <p>井上委員</p>	<p>資料 6「令和 2 年度事業計画および進捗状況」について事務局からご説明願います。</p> <p>資料 6 により「令和 2 年度事業計画および進捗状況」について中央公民館・鳥屋野地区公民館・東地区公民館・関屋地区公民館が基本施策ごとに説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本施策 1「人づくり、地域づくりを通じた地域コミュニティ活動の活性化への支援」 ・基本施策 2「家庭における教育力向上の支援」 ・基本施策 3「青少年の生き抜く力を育む機会の充実」 ・基本施策 4「高齢者の学習支援や社会参加の促進」 ・基本施策 5「現代的・社会的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供」 ・基本施策 6「その他」 <p>事業についてご説明をいただきましたが、ここで委員の皆様から広くご質問・ご意見を承りたいと思います。事業説明のなかった事業に対してのご質問・ご意見でも結構ですので自由にご発言ください。</p> <p>今、新型コロナウイルスの感染状況の中で、いろいろな事業が変更を余儀なくされていると思います。当面はこの厳しい状況が続くと考えています。コロナ禍では単に事業を変更するだけではなく、例えばリモートなどに対応しながら続けていかなければいけないものも出てくるかと思っています。</p> <p>これからの事業の形式などについて、考えがあればお聞かせいただきたい。ま</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 6 枚目

	<p>た、ガイドラインにはすでに反映されているかもしれませんが、フェイスガードを着用して行っている事業はありますか。耳が不自由な方から「唇が見えなくなると何を言っているのか分からない」、「手話が難しい」という意見を聴きました。場合によっては口の動きが見えたほうがいい場合もあることを踏まえた上でご配慮いただきたい。</p>
<p>中央 伊藤事業担当</p>	<p>私どももコロナの状況を楽観的には考えておりませんが、令和2年度の事業計画はコロナ発生以前に考えられたものであったため、それが故に多くの事業が中止となっている状況です。</p> <p>コロナ禍において公民館が取り組んでいるのは、定員を減らし三密を回避するなど、安全面を配慮した運営方式での事業実施です。もうひとつの方法として、講座のオンライン化にも取り組み始めました。ただし公民館事業には「交流を通じた仲間づくり」という大きな目的がありますので、オンラインで目的が果たせるかという点、足りない部分も多々あります。ただし、交流が難しいことを理由にオンラインを活用しないわけではなく、オンラインでもコミュニケーションが図れる手法を模索しているところです。</p> <p>特に保育付き事業である家庭教育学級では、保育室の有無が参加を決断するための非常に大きな判断材料としてありましたので、まず試験的な意味も含めてオンライン講座という形式での実施を始めました。各公民館も講座のオンライン化へ動き始めています。</p> <p>中央公民館と生涯学習センターは、Zoomを活用した講座のオンライン化を推進するため支援チームを立ち上げ、相談に乗りながら各館を支援しているという状況です。</p> <p>まだ動き始めて間もないため、課題をみつけながら成長していくといった段階ですが、来年度の事業計画の中にはオンラインで行う講座が増えてくると考えています。</p>
<p>藤瀬議長</p>	<p>ありがとうございました。ほかにご質問・ご意見いかがでしょうか。後藤委員、お願いします。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>今ほど井上委員からもお話がありましたように、やはりオンライン化は、仮にコロナが終息したとしても進めていくことが非常に大事だと思います。</p> <p>オンライン形式でコミュニケーションがとれるかは未知の世界ですが、大学でもオンライン授業が進んでおり、当然、教授と学生は画面をとおして質疑を行うなどしていることを考えれば、若い世代に関してはむしろ1対1で正面に向かってお話をするよりも、パソコンの中で話をするという距離感が逆に良かつ</p>

藤瀬議長	<p>たりする部分があるのではと感じています。</p> <p>実施計画を見させていただいた中でも、今の段階でもオンライン形式で行って進めることが可能な事業があると感じました。</p> <p>ただ、オンラインを活用することにおいては、非常にモラルも大事で、基本的原則というものも必要になりますので、鳥屋野地区公民で「スマホの使い方講座」を実施することは、本当にこれは素晴らしいことだと思います。</p> <p>ありがとうございます。今、後藤委員からは主にオンラインでできる事業も可能ではとの意見がありましたが、公民館事業でオンラインを活用するという方針について、何か補足がございましたら伺いたいと思います。</p>
中央 浅間館長	<p>これまで公民館にはオンラインでの講座実施のスキルがなかったため、中央公民館と生涯学習センターが協同で「オンライン支援チーム」を作りました。</p> <p>オンライン化により、どのようなことがどこまでできるのか、施設のネット環境の状況を調べることから始まり、試験的に講座に導入するなど、試行錯誤を繰り返しながら、公民館職員もスキルを高めている段階です。ご意見を参考にさせていただいて、これからの講座の組み立てを考えさせていただきたいと思います。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。大学でオンラインをやったの実感なのですが、やはり顔を合わせられないことで気持ちが減入ってしまう学生もいれば、逆にオンラインのほうが気楽に授業に参加できるという学生も一部います。対面の場だと出てきにくい方が、逆にオンラインを通じての事業展開をすることでそこに参加していただけるという、新たな展開も生まれる可能性を感じています。困難な状況ではありますが、様々な可能性も探っていただく機会にもなり得るとお話を伺って思いました。</p> <p>そのほか、委員の方、いかがでしょうか。渡辺委員お願いいたします。</p>
渡辺委員	<p>コロナで中止となった事業の代替事業を考えてくださったのは、とてもいいことだと思います。単に中止するのではなく、何か代わるものを模索してやっていただければなと思っています。</p> <p>家庭教育の部分での意見ですが、私はお母さんたちと直接触れさせていただく機会があるのですが、友だちは作りたいけれど講座に参加するかどうかで悩んでいる方が大勢いらっしゃいます。そのような方からも実際に講座へ参加し、みんなと心が溶け込むことで「やはり会ってよかった」、「参加してよかった」というお話を伺いますので、幼児期の保護者や転勤してこられた方などには、いき</p>

	<p>なりオンラインではなく、親子一緒でもいいので実際に顔をあわせてコミュニケーションを取っていただきたいと思います。その後、オンラインでいろいろ講座を受けながら、仲間同士オンラインでつながるような流れがよいのではないのでしょうか。その辺も考慮していただければと思っています。よろしくお願いします。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。オンラインや対面のそれぞれの良さをうまく組み合わせながらやっていくというご意見をいただきました。渡辺委員のご意見のように考えていただけると、さらにいいものが生まれると思いました。ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。笠原委員お願いいたします。</p>
笠原委員	<p>施設のオンライン化について質問ですが、このコロナの状況下で利用団体が人と触れ合うことに抵抗を感じた場合、利用団体が公民館の部屋からオンラインで他のサークルの人たちとつながれるようなW i - F i 環境は整備されているのでしょうか。</p>
中央 土沼管理担当	<p>クロスパルについては、開館当初から有線であればネットの利用が可能な環境にはなっています。企業等でネットを利用されているところが以前からありました。ただし、無線のW i - F i 環境の整備はできていないので、無線でのW i - F i 使用を希望される方は、ルーターをご自身で持参されて利用されています。</p> <p>「リモートの会議等を行う施設環境が整っているか」というお問い合わせも増えてきていますが、環境整備については、どこまでやれるのか今後検討していかなければいけない状況です。</p>
笠原委員	<p>もう一つ、白新中学校の中庭でやった講座についてお聞きします。私は日和山小学校のコーディネーターをしていますが、先生方がとても忙しくて花の水やりすらできない状況です。白新中学校での講座のお話を聞いて素晴らしいと思ったのですが、きっかけはどのようなものだったのでしょうか。</p>
中央 伊藤事業担当	<p>まずは学校からお話がありました。学校でボランティア活動をしてくださる方を育て、学校と地域の垣根を低くし、いつでも往来ができるような関係を作りたいということでした。そこで公民館と学校が互い意見を出し合いながら企画されたのがこの講座です。校長先生のお考えでもあったので全てが順調に進み、講座終了後も学校側が受講者の方々とのつながりを維持できるよう関係づくりに励んでいらっしゃいます。</p>

藤瀬議長	<p>ほかに、いかがでしょうか。山田委員お願いします。</p>
山田委員	<p>オンライン事業が可能ならば、公民館エリアの住民以外の、様々な人たちの受講が可能となるので、公民館はできるところからネット環境の整備に順次取り組み、準備がととのった館から市内全域へ向け発信を始めたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、ユーチューブ配信という形であればリアルタイムで視聴できない人も講座内容を確認できます。そこからのつながりを持つことができる方法もあるのではないかと思います。</p> <p>公民館は職員体制も少ない中で多くの事業を行っており、さらに新しい事業を加えることになれば負担も大変大きくなると思われます。オンラインでの取り組みは人員が少ない公民館の負担を軽減するきっかけとすることができるかもしれません。</p> <p>社会教育の大きな転換期を迎えている中での皆さんのご苦勞は本当に大変だと思いますが、ピンチをチャンスに変えていけるよう頑張ってくださいと思います。</p> <p>また、密を避けながらのグループワークなど、苦勞をしておられると思いますが、アクリル板やフェイスシールドという、物理的に飛沫を直接浴びない対策をとれば、ある程度のグループワークも可能だと思います。いろいろな面で経費もかかるとは思いますが、それもひとつの方法かもしれません。</p> <p>新聞に中央教育審議会の生涯学習部会の報告案が出ていましたが、「公民館事業のオンライン化を」という提言の中で、地方交付税参入できるIT環境の整備の予算が載っていましたが、ぜひ活用を検討し施設整備に取り組んでいただきたいと思いました。</p>
藤瀬議長	<p>ありがとうございます。確かに大きな転換期に新型コロナウイルスの感染がちょうど重なったということで、今後の事業展開、あるいは公民館のあり方を考える契機なのだろうなと思いました。今のご意見に対して、事務局いかがですか。</p>
中央 浅間館長	<p>オンラインで人と人をつなげられるのか、どのような事業に有効なのか、現在は手探りの状況ですが、まずは私たち公民館職員がひとつひとつ試しながら学んでいかなければなりません。</p> <p>また、民間などにも先進的な取り組みがあると思いますので、参考にさせていただきながら、ひとつひとつ丁寧にやっていきたいと思っております。ありがと</p>

藤瀬議長	<p>うございます。</p> <p>理念としては残っていると思いますが、施策の中の「学・社・民」というキーワードが消えました。社会教育において学・社・民の連携は大きな骨子ですので、事業計画表の中でどのような団体や学校と連携できたのかを記載していただくと、どの事業で学・社・民の連携が行われているか可視化されるのではないのでしょうか。</p> <p>また、今後の事業展開の中に「企業との連携」という視点も加えていただくとよいのではないかと思います。</p> <p>ほかに、いかがでしょうか。塩田委員と祝委員にも、一言お伺いしたいのですが、よろしいでしょうか。塩田委員お願いいたします。</p>
塩田委員	<p>私は学校で地域教育コーディネーターをしていますが、コロナの先行きが不透明な中、学校も先が見えない状況でやっているところです。公民館の事業計画でも多くの事業が中止となっていますが、コロナ以前に作られた計画であるとのことで合点がいきました。</p> <p>今後もコロナの状況によっては様々な変更などがあると思いますが、できる限り実施する方法を模索しながらやっていきたいと私も日々思っています。説明を聞いている中で、いろんな場面で公民館とつながることができるヒントをいただくことができました。</p>
藤瀬議長	<p>続いて、祝委員、一言お願いします。</p>
祝委員	<p>先ほど山田委員がおっしゃった、公民館全体がオンラインの活用に取り組んでいくという発想は共感できました。コロナで皆さんが汲々としています。私も毎朝、検温をしたり三密に気をつけたりしています。テレビでもアクリル板を使って飛沫を防いだりいたりしている様子が見られます。</p> <p>工夫をしながら合唱等のイベントを行っていくことは大変だとは思いますが、コロナに関しては様々な憶測がある中、萎縮せずに様々な工夫に取り組んで事業を実施していくが大事だと思います。</p>
(3) その他	
藤瀬議長	<p>最後に議題(3)「その他」になりますが、委員の皆様より何かございますでしょうか。田代委員、お願いします。</p>
田代委員	<p>「不要不急の方は外出を自粛してください。」ということが、テレビ報道をはじめ様々なところで言われていますが、公民館活動は不要不急なのだろうか</p>

中央公民館運営審議会会議概要

中央公民館
11 枚中 11 枚目

藤瀬議長	<p>悩んでいます。私は当初、不要不急の要件でなければ外出は控えるべきだと考え、ずっと家に閉じこもっていました。</p> <p>世間一般の中で、公民館活動は不要不急なのか。学校教育などと比較して、どの辺りに位置づけされているのか。個人的には不要不急にはあたらないと思いますが、公民館利用者も疑問を持ちながら活動している状況だと思います。</p> <p>感染の危険性を避けるためとはいえ、利用者に多くの制約が課せられると対応することが難しくなります。あまり細かい条件設定をせず、もう少し大まかでもよいので、確実に各団体ができる対応を求めていけばよいと思います。</p>
中央 浅間館長	<p>ありがとうございます。事務局から何かありますか。</p> <p>社会教育活動については、決して不要不急ではないと思っておりますが、そのような中でも社会教育活動を進めていくためには、コロナへの対策を十分に考えながら皆様と一緒に進めていく必要があると考えています。</p> <p>公民館側の対策としてガイドラインを作成・周知に取り組んでいますが、当然ながらそれだけで全ての面で対策がとれるわけではありません。利用者の皆様にも、ご自身の体調管理や感染防止への対策をしていただくことが必要となります。互いが協力することが、より安全な公民館活動につながっていくと思っております。</p>
藤瀬議長	<p>今までの縦割りの境界線や業種を超えての連携、固定概念を取り払った柔軟な対応が求められていると思いますので、公民館事業においてもそのようにお願いできたらと思います。参加した方が「参加してよかった」と思ってもらえることが一番の効果でもありますし、「明日から頑張ろう」という気にもなるので、そんな機会が増えてほしいと思います。私の議事は終了させていただき、事務局にお返しします。</p>